

令和 2 年 度

蓮 田 白 岡 衛 生 組 合  
一般会計歳入歳出決算審査意見書  
及び行政監査結果報告書

蓮田白岡衛生組合監査委員

写

監 第 7 号  
令和3年9月21日

蓮田白岡衛生組合  
管理者 中野和信様

蓮田白岡衛生組合監査委員 内 田 薫

蓮田白岡衛生組合監査委員 斎 藤 信 治

令和2年度蓮田白岡衛生組合決算審査意見書について（提出）

地方自治法第233条第2項の規定により監査委員の審査に付された、令和2年度蓮田白岡衛生組合一般会計歳入歳出決算について審査したので、意見書を提出します。

写

監 第 8 号  
令和3年9月21日

蓮田白岡衛生組合  
管理者 中野和信様  
蓮田白岡衛生組合議会  
議長 松本栄一様  
蓮田白岡衛生組合公平委員会  
委員長 中野諭様

蓮田白岡衛生組合監査委員 内田 薫

蓮田白岡衛生組合監査委員 斎藤 信治

令和3年度蓮田白岡衛生組合行政監査結果報告書について（提出）

地方自治法第199条第2項の規定による行政監査を実施したので、結果報告書を提出します。

なお、この行政監査は、決算審査と併せて実施したものです。

# 目次

決算審査及び行政監査の視点	1
<b>一般会計歳入歳出決算審査意見書及び行政監査結果報告書</b>	
第1 審査の対象	3
第2 審査の期日	3
第3 審査の方法	3
第4 審査の結果	3
第5 決算の概要	3
第6 歳入決算額の状況	5
第7 歳出決算額の状況	11
第8 財産に関する調書	16
第9 むすび	17

## 決算審査及び行政監査の視点

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で政府から緊急事態宣言が発令されたことにより、埼玉県下においても外出自粛要請がなされ、市民生活もさまざまな制約が求められました。また、生活スタイルの変容により家庭から排出されるごみ量も増加し、当組合においても事業の継続が強く求められたところです。

このような状況の中、市民の方への支援策のひとつとして、蓮田市並びに白岡市在住の世帯に対して燃えるごみ用の有料指定袋45リットル及び30リットルをそれぞれ10枚ずつを無料配布する新型コロナウイルス感染症対策の取組が行われていた。

決算審査及び令和3年度行政監査にあっては、「蓮田白岡衛生組合監査基準」及び「蓮田白岡衛生組合監査計画」に基づき審査及び監査を実施した。

決算審査の視点は、一般会計の決算書及びその関係諸表等の計数の正確性を検証するとともに、歳入、歳出予算の執行の状況について総合的に審査し、予算の執行又は各事業の経営が経済的、効率的かつ効果的に行われているかどうかを主眼として行った。

行政監査の視点は、事務の執行について正確で最少の経費で最大の効果を挙げているか、また、組織及び運営の合理化に努めているかなどを主眼として行った。

各課へのヒアリングにおいては、地方自治法施行令第150条に基づく予算執行計画を適正に活用しているか、新型コロナウイルス感染症対策関連事業は効果的に行われているか、コンプライアンス意識は浸透しているか、所管する各業務においてリスクを意識して適正に執行されているか、契約の締結は関係法令及び蓮田白岡衛生組合契約実務マニュアルに基づいて適正に執行されているか、過去の監査における指摘、提言要望事項は改善されているかなどについても関係職員から説明を受けるとともに質疑を行い、疑問点などについては追加資料の提出を求め実施した。

また、組合の財政状況や施設整備基金の状況等についてもその健全性等を確認した。

### 【凡 例】

- 1 文中及び表中の計数は、原則として表示単位未満を四捨五入により端数処理した関係上、差額又は合計金額が一致しない場合がある。四捨五入の結果「0」と表記されている数字もある。
- 2 比率「%」は、表示単位未満を四捨五入した。このため、計数が一致しない場合がある。
- 3 表中の「△」印は、マイナスを表すものとした。
- 4 文章中、「皆増」は前年度に数値がなく当年度に発生したものである。また、「皆減」は前年度に数値があり当年度に発生しなかったものである。



一般会計歳入歳出決算審査意見書  
及び行政監査結果報告書

## 第1 審査の対象

令和2年度蓮田白岡衛生組合一般会計歳入歳出決算

## 第2 審査の期日

令和3年9月2日（木）

## 第3 審査の方法

令和2年度の蓮田白岡衛生組合一般会計歳入歳出決算書、事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書に基づき、各計数の正確性を確認するとともに、予算の執行状況が適切かつ効率的に執行されているか慎重に審査した。

なお、各課から提出された令和2年度決算審査に係る業務等報告書、主要事業報告書、歳入歳出決算資料及び契約に関する資料等に基づき、総合的に会計管理者、事務局長から、業務及び決算状況についての説明を受けた後、各所属長から歳入歳出決算等について説明を求め審査を行った。また、疑問点等については、追加資料の提出を求め確認した。

工事審査は、環境センター場内整備工事及びクレーン補修工事について、当該工事の施工から工事完了、検査に係る関係書類一式の書類審査を行い、その後、現地確認を実施した。

## 第4 審査の結果

令和2年度の一般会計歳入歳出決算書、事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書はいずれも関係法規に準拠して作成されており、各計数は適正なものとして認められた。

## 第5 決算の概要

### 1 総括

#### (1) 全体の収支

令和2年度一般会計の歳入歳出予算現額は1,761,413,000円である。

歳入決算額は1,775,694,638円（予算現額に対する割合100.8%）で、歳出決算額は1,721,437,950円（予算現額に対する割合97.7%）で、歳入決算額から歳出決算額を差し引いた形式収支額は54,256,688円となり、翌年度へ繰り越すべき財源1,463,000円を差し引いた実質収支額は52,793,688円の黒字である。

また、この実質収支額から、前年度の実質収支額35,026,319円を差し引いた単年度収支額は、17,767,369円の黒字である。

歳入決算額を前年度と比較すると、2,287千円（△0.1%）の減額、歳出決算額は、21,517千円（△1.2%）の減額となった。

(単位：千円)

区 分	当年度 A	前年度 B	比較増減	
			決算額 A - B	率 (%)
予 算 現 額	1,761,413	1,759,692	1,721	0.1
歳 入 決 算 額	1,775,694	1,777,981	△2,287	△0.1
歳 出 決 算 額	1,721,438	1,742,955	△21,517	△1.2
差 引 残 額	54,256	35,026	19,230	54.9
翌年度 へ繰り 越すべ き財源	(1) 継続費通次 繰越額	0	0	-
	(2) 繰越明許費 繰越額	1,463	0	1,463
	(3) 事故繰越し 繰越額	0	0	-
実 質 収 支 額	52,793	35,026	17,767	50.7

※実質収支額＝歳入決算額－歳出決算額－翌年度へ繰り越すべき財源

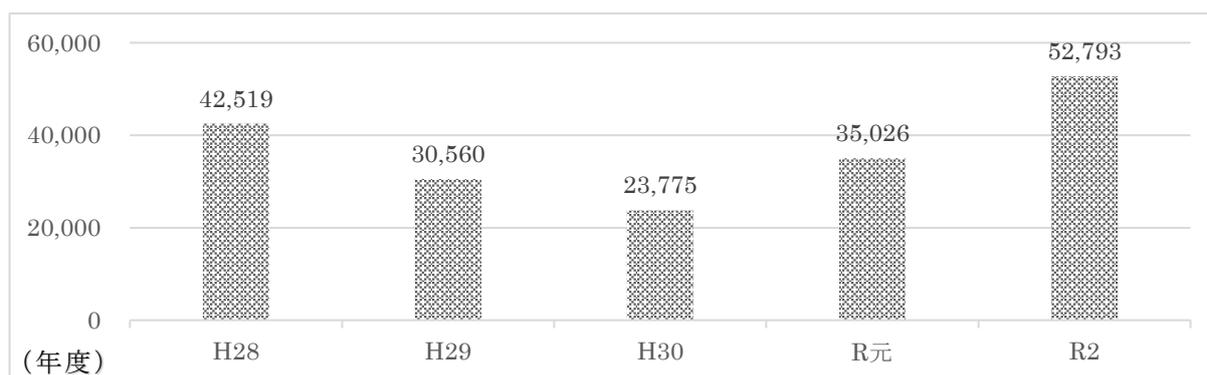
#### 財政規模の年度別推移

(単位：千円)

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
予算現額	1,656,253	1,559,441	1,586,544	1,759,692	1,761,413
歳入決算額	1,663,693	1,563,621	1,594,640	1,777,981	1,775,694
歳出決算額	1,621,174	1,533,061	1,570,389	1,742,955	1,721,438
差引残額	42,519	30,560	24,251	35,026	54,256
翌年度へ繰り 越すべき財源	0	0	476	0	1,463
実質収支額	42,519	30,560	23,775	35,026	52,793

#### 財政規模の年度別実質収支額の推移

(単位：千円)



## 第6 歳入決算額の状況

歳入決算額は、1,775,694,638円（前年度対比△2,287千円、0.1%減）である。  
前年度に対して減額となった科目は、次のとおりである。

- 2 款 使用料及び手数料 487,354千円（前年度対比△30,513千円、5.9%減）
- 3 款 財産収入 48,132千円（前年度対比△10,136千円、17.4%減）
- 6 款 諸収入 2,626千円（前年度対比△363千円、12.1%減）
- 7 款 組合債 9,100千円（前年度対比△20,600千円、69.4%減）

前年度に対し増額となった科目は、次のとおりである。

- 1 款 分担金及び負担金 1,193,456千円（前年度対比 48,550千円、4.2%増）
- 5 款 繰越金 35,026千円（前年度対比 10,775千円、44.4%増）

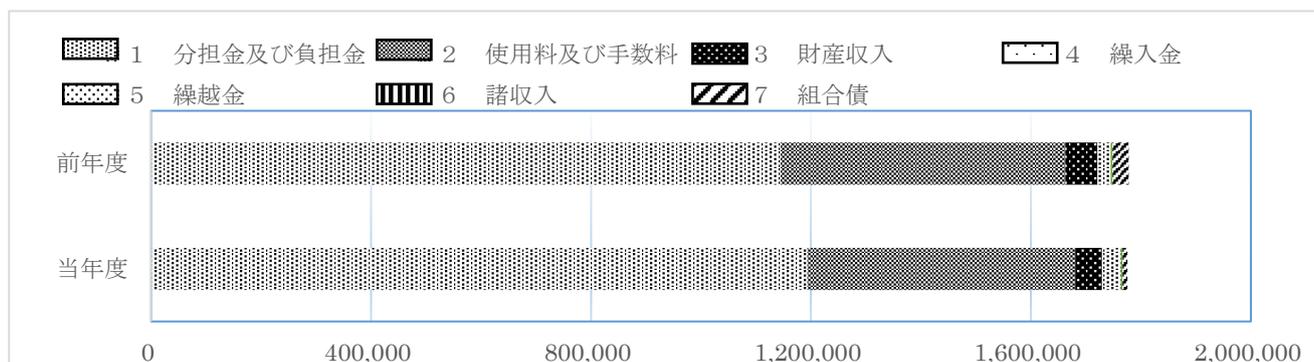
### ○歳入決算の状況

（単位：千円）

款	当初 予算額	予算現額	収入済額					
			当年度	収入率（%）		前年度	増減	増減率 （%）
				対当初 予算	対予算 現額			
1 分担金及び負担金	1,186,670	1,193,556	1,193,456	100.6	100.0	1,144,906	48,550	4.2
2 使用料及び手数料	509,152	478,018	487,354	95.7	102.0	517,867	△30,513	△5.9
3 財産収入	41,870	43,588	48,132	115.0	110.4	58,268	△10,136	△17.4
4 繰入金	1	1	0	0	0	0	0	-
5 繰越金	20,000	35,026	35,026	175.1	100.0	24,251	10,775	44.4
6 諸収入	1,429	2,124	2,626	183.8	123.6	2,989	△363	△12.1
7 組合債	12,100	9,100	9,100	75.2	100.0	29,700	△20,600	△69.4
合計	1,771,222	1,761,413	1,775,694	100.3	100.8	1,777,981	△2,287	△0.1

### 歳入決算の前年度比較表

（単位：千円）



## 1 款 分担金及び負担金

歳入決算総額に対する構成比率は 67.2% であり、前年度と比較すると 48,549,468 円（4.2%）の増額となった。

このうち、分担金は、1,110,607 千円で前年度対比 47,445 千円（4.5%）の増額となり、負担金は、82,849 千円で前年度対比 1,105 千円（1.4%）の増額となった。

この主な要因は、分担金においては、新型コロナウイルス感染症対策事業のため、両市の追加負担によるものである。また、負担金においては、蓮田市及び白岡市の世帯数の増加によるものである。

（単位：千円）

項	当初予算額	予算現額	収入済額					
			当年度	収入率（%）		前年度	増減	増減率（%）
				対当初 予算	対予算 現額			
1 分担金	1,104,000	1,110,606	1,110,607	100.6	100.0	1,063,162	47,445	4.5
2 負担金	82,670	82,950	82,849	100.2	99.9	81,744	1,105	1.4
合 計	1,186,670	1,193,556	1,193,456	100.6	100.0	1,144,906	48,550	4.2

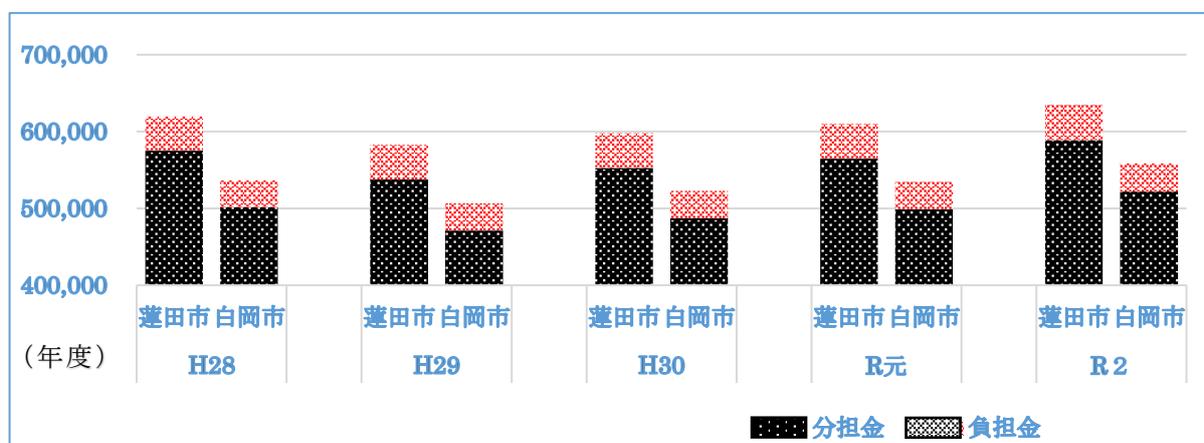
## 分担金及び負担金の増減推移

（単位：千円）

		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
蓮田市	分担金	575,209	537,902	552,902	564,546	588,798
	負担金	44,375	44,671	45,082	45,476	46,031
白岡市	分担金	501,545	471,264	487,060	498,616	521,809
	負担金	34,758	35,379	35,891	36,268	36,818

## 分担金及び負担金の年度別推移

（単位：千円）



## 2 款 使用料及び手数料

歳入決算総額に対する構成比率は 27.4% であり、前年度と比較すると 30,512,028 円 (△5.9%) の減額となった。

この主な要因は、ごみ手数料が 471,689 千円で前年度対比 29,869 千円 (△6.0%) の減額となった。これは、有料指定袋の無料配布による手数料 30,642 千円 (△13.3%) の減額によるものである。

また、粗大ごみ処理手数料は 7,400 千円で前年度対比 1,586 千円 (27.3%) の増額となった。

(単位：千円)

項	当初 予算額	予算 現額	収入済額					
			当年度	収入率 (%)		前年度	増減	増減率 (%)
				対当初 予算	対予算 現額			
1 使用料	88	88	88	100.0	100.0	71	17	23.9
2 手数料	509,064	477,930	487,266	95.7	102.0	517,796	△30,530	△5.9
合 計	509,152	478,018	487,354	95.7	102.0	517,867	△30,513	△5.9

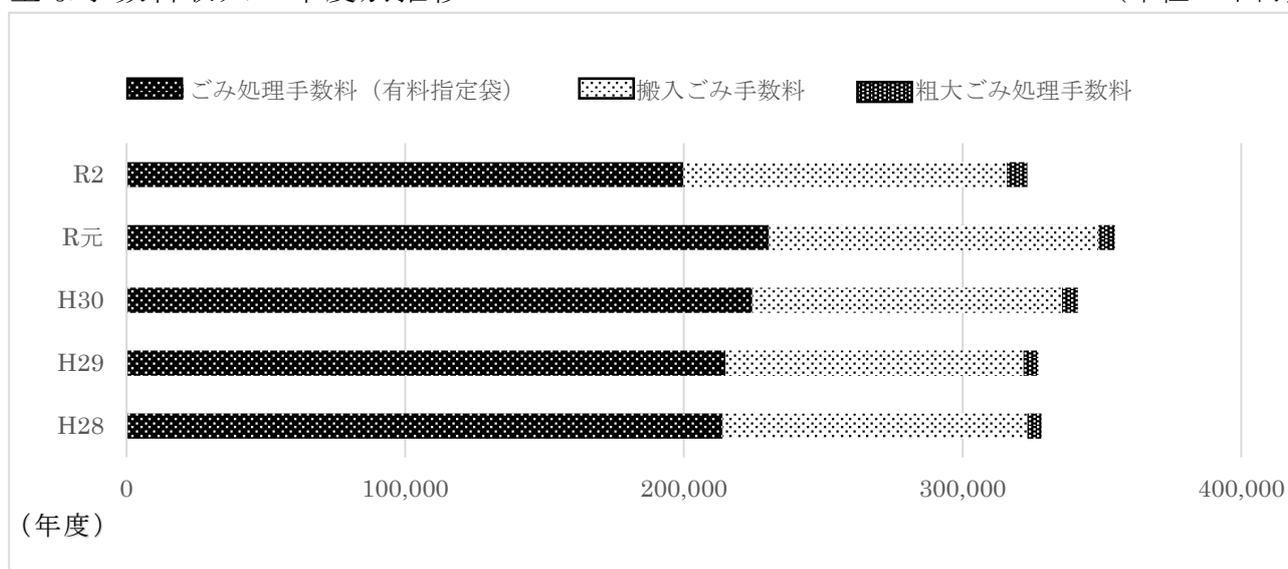
## 主な手数料の増減推移

(単位：千円)

		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
ごみ 手 数 料	ごみ処理手数料 (有料指定袋)	213,878	215,013	224,542	230,505	199,863
	搬入ごみ手数料	109,341	106,889	111,187	118,313	116,013
	粗大ごみ処理 手数料	5,060	5,281	5,607	5,814	7,400

## 主な手数料収入の年度別推移

(単位：千円)



### 3 款 財産収入

歳入決算総額に対する構成比率は 2.7% であり、前年度と比較すると 10,136,589 円 (△17.4%) の減額となった。

このうち、財産売却収入は 48,130 千円で前年度対比 10,101 千円 (△17.3%) の減額となった。

この主な要因は、鉄・アルミ売却が前年度対比 8,281 千円 (44.5%) の増額となったが、ペットボトル売却においては前年度対比 1,334 千円 (△10.7%)、古紙類売却においては、前年度対比 15,795 千円 (△65.1%) とそれぞれ減額となったことによるものである。

(単位：千円)

項	当初 予算額	予算 現額	収入済額					
			当年度	収入率 (%)		前年度	増減	増減率 (%)
				対当初 予算	対予算 現額			
1 財産運用収入	16	1	2	12.5	200.0	37	△35	△94.6
2 財産売却収入	41,854	43,587	48,130	115.0	110.4	58,231	△10,101	△17.3
合 計	41,870	43,588	48,132	115.0	110.4	58,268	△10,136	△17.4

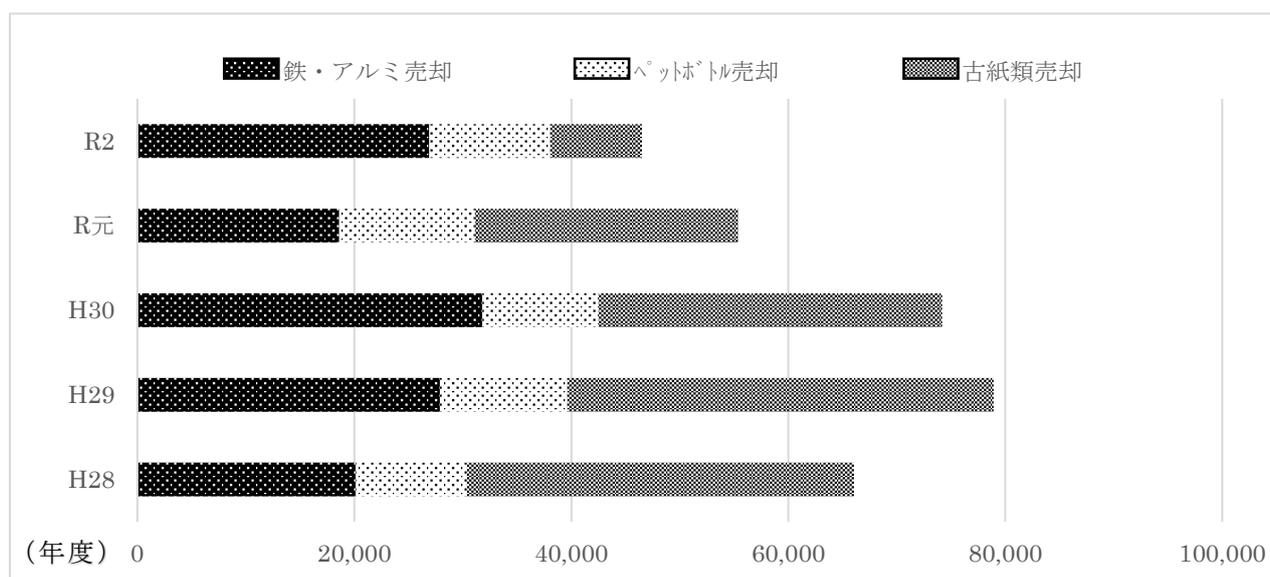
### 主な売却した財産収入の増減推移

(単位：千円)

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
鉄・アルミ売却	20,106	27,895	31,790	18,615	26,896
ペットボトル売却	10,275	11,742	10,712	12,494	11,159
古紙類売却	35,681	39,274	31,671	24,257	8,462

### 主な売却した財産収入の年度別推移

(単位：千円)



## 5 款 繰越金

歳入決算総額に対する構成比率は 2.0% であり、前年度と比較して 10,775,291 円 (44.4%) の増額となった。

(単位：千円)

項	当初 予算額	予算 現額	収入済額					
			当年度	収入率 (%)		前年度	増減	増減率 (%)
				対当初 予算	対予算 現額			
1 繰越金	20,000	35,026	35,026	175.1	100.0	24,251	10,775	44.4

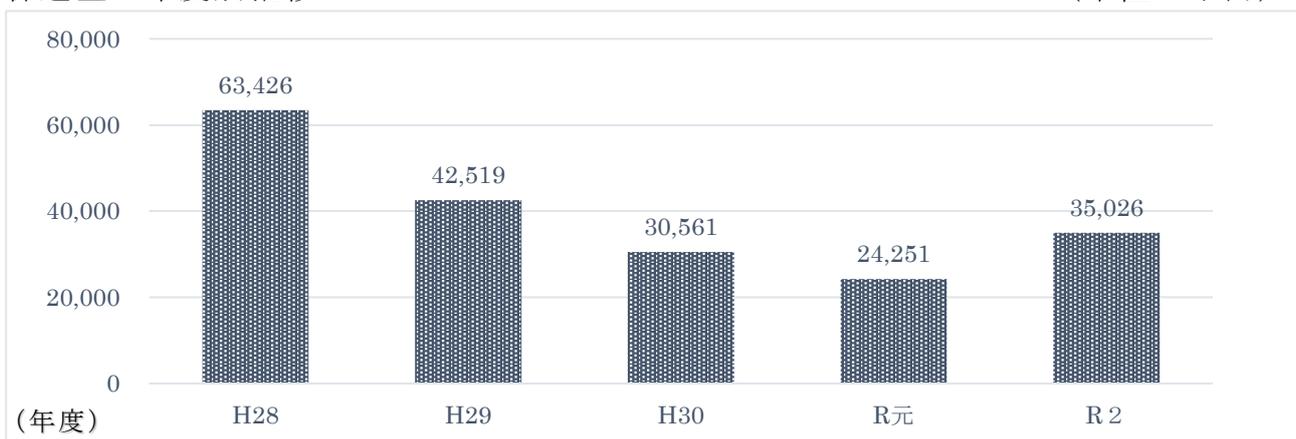
### 繰越金の増減推移

(単位：千円)

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
繰越金	63,426	42,519	30,561	24,251	35,026

### 繰越金の年度別推移

(単位：千円)



## 6 款 諸収入

歳入決算総額に対する構成比率は 0.2% であり、前年度と比較すると 362,822 円 (△12.1%) の減額となった。これは、東京電力福島第一及び第二原子力発電所事故賠償金が前年度と比較して 515 千円の減額となったことによるものである。

(単位：千円)

項	当初 予算額	予算 現額	収入済額					
			当年度	収入率 (%)		前年度	増減	増減率 (%)
				対当初 予算	対予算 現額			
1 預金利子	11	1	1	9.1	100.0	14	△13	△92.9
2 雑入	1,418	2,123	2,625	185.1	123.6	2,975	△350	△11.8
合計	1,429	2,124	2,626	183.8	123.6	2,989	△363	△12.1

## 7 款 組合債

歳入決算総額に対する構成比率は 0.5% であり、前年度と比較すると 20,600,000 円 (△69.4%) の減額となった。これは、ごみ焼却施設のクレーン補修工事に係る財源として 9,100 千円を金融機関より借入れたことによるものである。

(単位：千円)

項	当初 予算額	予算 現額	収入済額					
			当年度	収入率 (%)		前年度	増減	増減率 (%)
				対当初 予算	対予算 現額			
1 組合債	12,100	9,100	9,100	75.2	100.0	29,700	△20,600	△69.4

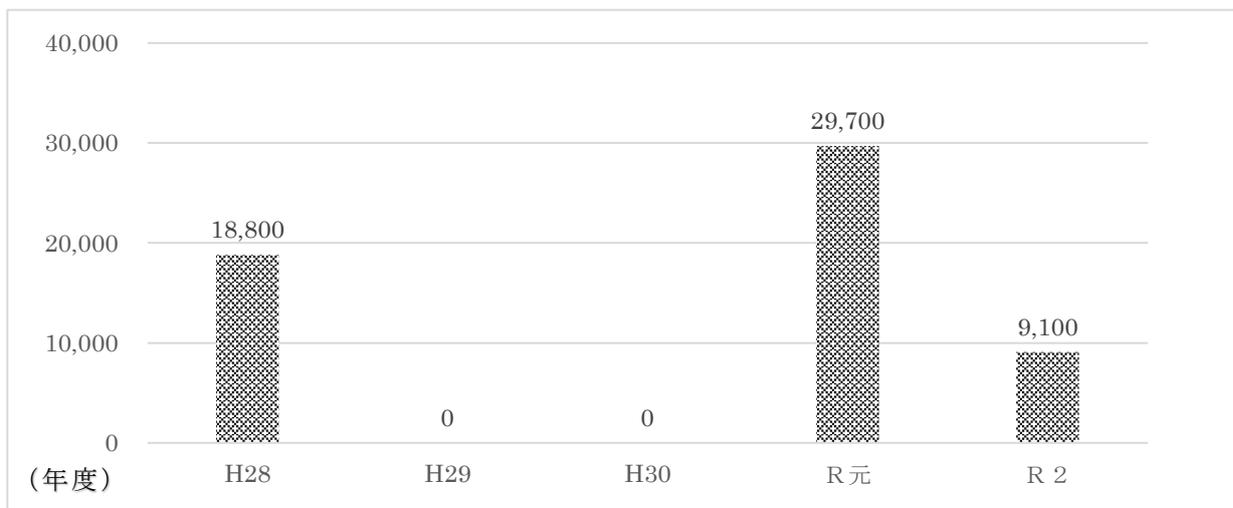
## 組合債の増減推移

(単位：千円)

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
組合債	18,800	0	0	29,700	9,100

## 組合債の年度別推移

(単位：千円)



## 第7 歳出決算額の状況

歳出決算額 1,721,437,950 円（前年度対比△21,517 千円、1.2%減）である。  
前年度に対して減額となった科目は、次のとおりである。

3 款衛生費 1,155,649 千円（前年度対比△24,746 千円、2.1%減）

前年度に対して増額となった科目は、次のとおりである。

1 款議会費 2,418 千円（前年度対比 1,409 千円、139.6%増）、

2 款総務費 390,265 千円（前年度対比 933 千円、0.2%増）、

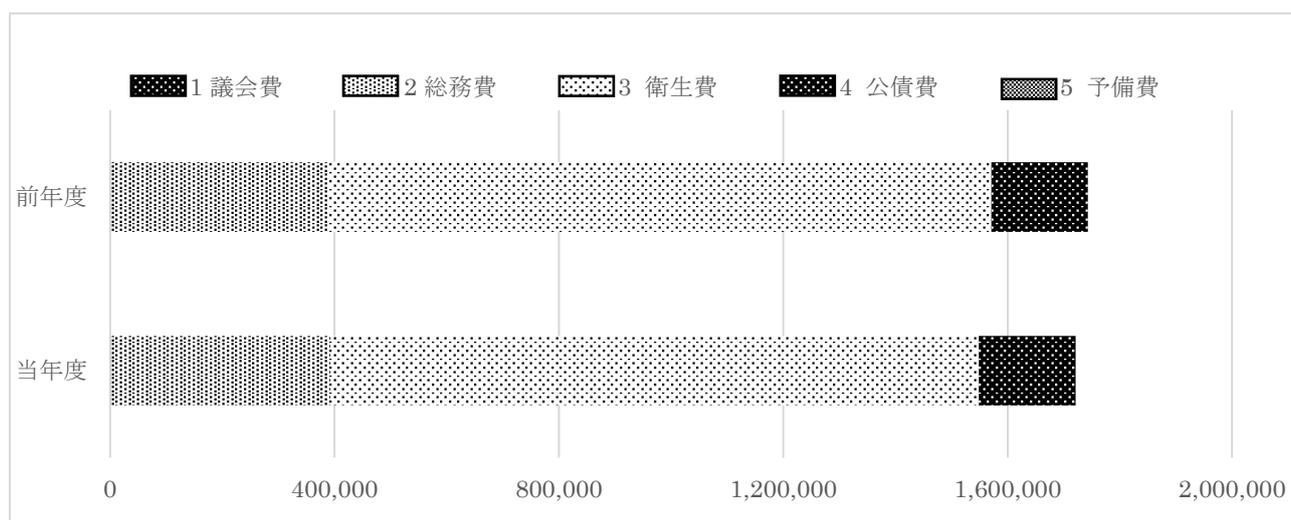
4 款公債費 173,106 千円（前年度対比 887 千円、0.5%増）

（単位：千円）

款	当初 予算額	予算現額	支出済額					
			当年度	執行率（%）		前年度	増減	増減率 （%）
				対当初 予算	対予算 現額			
1 議会費	1,542	3,080	2,418	156.8	78.5	1,009	1,409	139.6
2 総務費	401,763	397,246	390,265	97.1	98.2	389,332	933	0.2
3 衛生費	1,189,603	1,182,947	1,155,649	97.1	97.7	1,180,395	△24,746	△2.1
4 公債費	173,314	173,314	173,106	99.9	99.9	172,219	887	0.5
5 予備費	5,000	4,826	0	—	—	0	0	—
合計	1,771,222	1,761,413	1,721,438	97.2	97.7	1,742,955	△21,517	△1.2

## 歳出決算の前年度比較表

（単位：千円）



## 1 性質別歳出決算

経常的経費の決算額は1,430,868千円（前年度対比7,066千円、0.5%増）で、投資的経費の決算額は、61,962千円（前年度対比△24,934千円、28.7%減）、その他の経費（公債費及び積立金）は228,608千円（前年度対比△3,649千円、1.6%減）となっている。

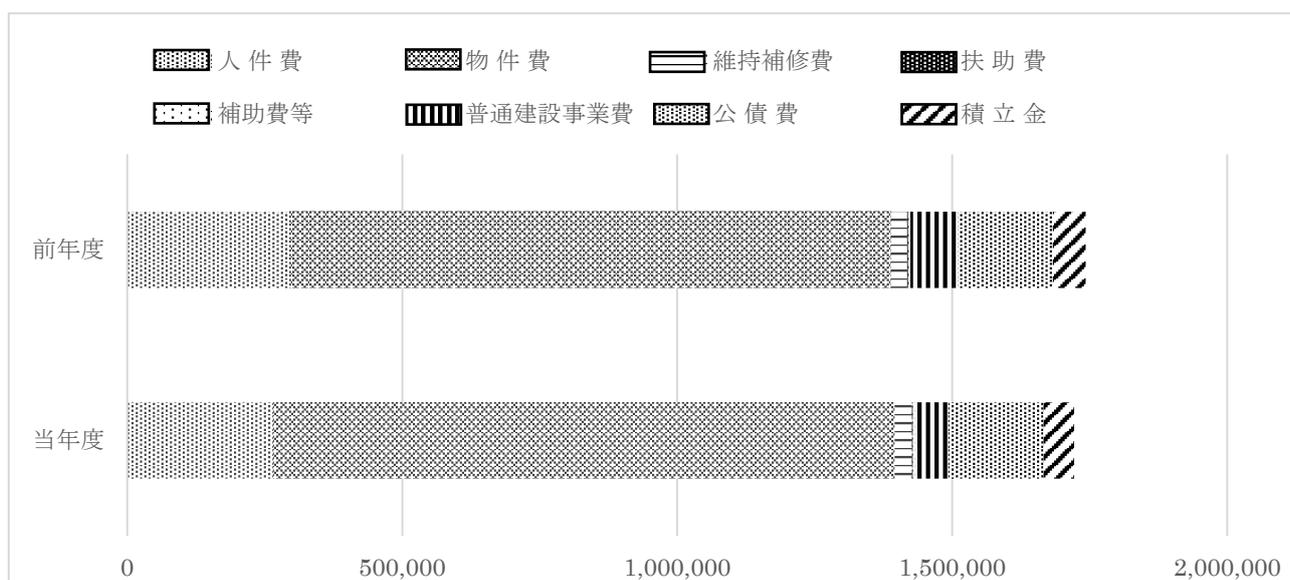
### 性質別歳出決算状況

（単位：千円）

区 分		当年度		前年度		比較増減	
		決算額	構成比 (%)	決算額	構成比 (%)	決算額	率 (%)
経常的 経 費	人 件 費	265,459	15.4	295,425	17.0	△29,966	△10.1
	物 件 費	1,128,299	65.6	1,092,540	62.7	35,759	3.3
	維持補修費	31,303	1.8	29,960	1.7	1,343	4.5
	扶 助 費	2,045	0.1	2,025	0.1	20	1.0
	補助費等	3,762	0.2	3,852	0.2	△90	△2.3
	計	1,430,868	83.1	1,423,802	81.7	7,066	0.5
投資的 経 費	普通建設事業費	61,962	3.6	86,896	5.0	△24,934	△28.7
	計	61,962	3.6	86,896	5.0	△24,934	△28.7
その他 の経費	公 債 費	173,106	10.1	172,219	9.9	887	0.5
	積 立 金	55,502	3.2	60,038	3.4	△4,536	△7.6
	計	228,608	13.3	232,257	13.3	△3,649	△1.6
合 計		1,721,438	100.0	1,742,955	100.0	△21,517	△1.2

### 性質別歳出決算の前年度比較表

（単位：千円）



## 2 款別の主な増減の理由

### 1 款 議 会 費

予算現額 3,080,000 円に対して決算額は 2,417,934 円であり、歳出総額に対する構成比率は、0.1%で前年度と比較して 1,408,851 円 (139.6%) の増額となった。増額の主なものは、議場用音響機器 1,430 千円の備品購入費である。

(単位：千円)

項	当初 予算額	予算 現額	支出済額					
			当年度	執行率 (%)		前年度	増減	増減率 (%)
				対当初 予算	対予算 現額			
1 議会費	1,542	3,080	2,418	156.8	78.5	1,009	1,409	139.6

### 2 款 総 務 費

予算現額 397,246,000 円に対して決算額は 390,265,223 円であり、歳出総額に対する構成比率は、22.7%で前年度と比較して 933,353 円 (0.2%) の増額となった。

増額の主なものは、有料指定袋無料配布に伴う配送費として通信運搬費 17,087 千円 (1,281.6%) の増、環境センター場内整備工事費 15,566 千円 (皆増) 等である。

一方、前年度に対して減額となったものは、令和元年度末に職員 2 名が自己都合により退職したことによる退職手当負担金が 10,502 千円 (△31.8%)、職員給料が 5,753 千円 (△4.4%)、職員手当等が 7,375 千円 (△8.6%) である。

(単位：千円)

項	当初 予算額	予算 現額	支出済額					
			当年度	執行率 (%)		前年度	増減	増減率 (%)
				対当初 予算	対予算 現額			
1 総務管理費	401,655	397,138	390,159	97.2	98.2	389,251	908	0.2
2 監査委員費	108	108	106	98.2	98.2	81	25	30.9
合 計	401,763	397,246	390,265	97.1	98.2	389,332	933	0.2

### 3 款 衛 生 費

予算現額 1,182,947,000 円に対して決算額は 1,155,649,066 円であり、歳出総額に対する構成比率は、67.1%で前年度と比較して 24,746,289 円 (△2.1%) の減額となった。

その内訳としては、清掃総務費で 11,908 千円 (△3.0%)、じん芥処理費で 9,182 千円 (△1.3%)、し尿処理費で 3,125 千円 (△4.0%) の減額であった。

減額の主なものは、電気料で 17,296 千円、じん芥処理費及びし尿処理費の工事請負費で 40,970 千円の減額である。

一方、増額の主なものは、収集世帯数の増により燃えるごみ等収集業務委託費 5,989 千円、新型コロナウイルス感染症による外出自粛により家庭から排出され

るごみ量の増加より焼却灰・ばいじん等処分業務委託費 13,540 千円それぞれ増額となった。また、主な工事としてクレーン補修工事 15,665 千円を行った。

(単位：千円)

項	当初 予算額	予算 現額	支出済額					
			当年度	執行率 (%)		前年度	増減	増減率 (%)
				対当初 予算	対予算 現額			
1 清掃費	1,189,603	1,182,947	1,155,649	97.1	97.7	1,180,395	△24,746	△2.1

#### 4 款 公 債 費

予算現額 173,314,000 円に対して決算額は 173,105,727 円であり、歳出総額に対する構成比率は、10.1%で前年度と比較して 887,036 円 (0.5%) の増額となった。

増額の主なものは、令和元年度借入のDCS監視用PC更新工事の元金償還が始まったことにより前年度と比較して増額となった。

(単位：千円)

項	当初 予算額	予算 現額	支出済額					
			当年度	執行率 (%)		前年度	増減	増減率 (%)
				対当初 予算	対予算 現額			
1 元金	169,457	169,457	169,457	100.0	100.0	168,035	1,422	0.8
2 利子	3,857	3,857	3,649	94.6	94.6	4,184	△535	△12.8
合 計	173,314	173,314	173,106	99.9	99.9	172,219	887	0.5

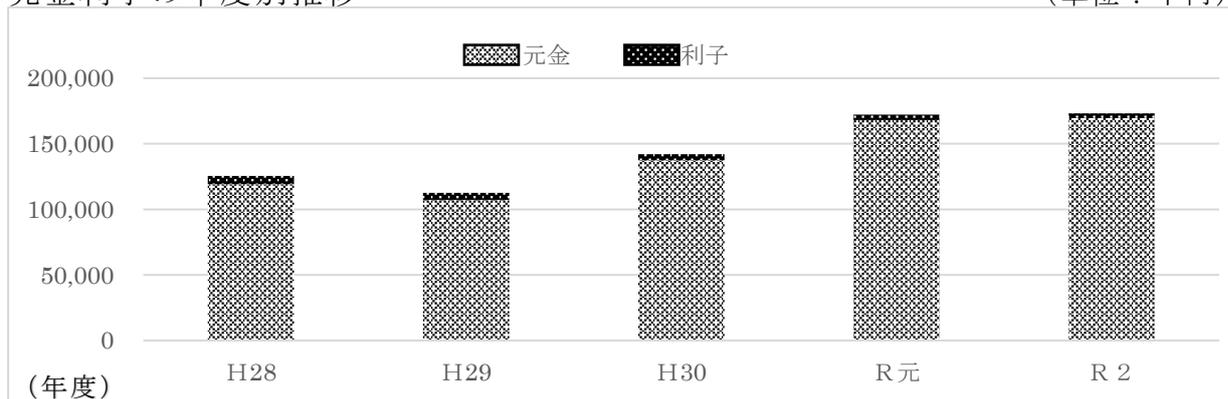
#### 元金利子の増減推移

(単位：千円)

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
元 金	119,207	107,155	137,353	168,035	169,457
利 子	6,355	5,446	4,791	4,184	3,649

#### 元金利子の年度別推移

(単位：千円)



## 5款 予 備 費

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止に使用する、使い捨てマスクの購入のため、3款衛生費、1項清掃費、1目清掃総務費に174,000円充用を行った。

第8 財産に関する調書 (決算書 24 頁から 27 頁記載のとおり)

1 公有財産

(1) 土地及び建物

前年度からの増減なし。

2 物 品

会議録集音システムは、機器の老朽化並びにコロナウイルス感染症対策として更新した。

カラープロジェクターは、長期使用に伴い修理部品がないことから廃棄処分し、デジタル複合機は、経年劣化に伴いリースに切り替えたことから減となった。

3 基 金

(1) 施設整備基金の状況

55,501,878 円の積立を行い、年度末現在高は、次表のとおりである。

(単位：円)

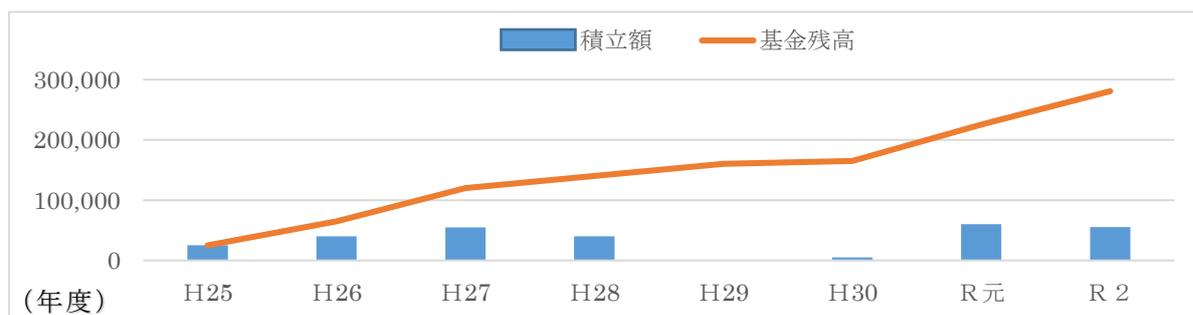
区分	令和元年度末現在高	令和 2 年度中増減高		令和 2 年度末現在高
現金	225,283,940	55,501,878		280,785,818
		積立額	取崩額	
		55,501,878	0	

(単位：円)

年 度	当該年度積立額 (運用利子含む)	施設整備 基金残高
平成 25 年度	25,009,500	25,009,500
平成 26 年度	40,033,247	65,042,747
平成 27 年度	55,086,687	120,129,434
平成 28 年度	40,042,837	160,172,271
平成 29 年度	47,399	160,219,670
平成 30 年度	5,026,622	165,246,292
令和元年度	60,037,648	225,283,940
令和 2 年度	55,501,878	280,785,818

施設整備基金の年度別推移

(単位：千円)



公有財産、物品及び基金の管理及び運営等は、それぞれ目的に基づいて適正に管理されていた。

## 第9 　むすび

審査の結果については、3頁に記載したとおりであるが、審査の結果を踏まえ、次のとおり指摘及び提言要望し、一般会計決算審査及び行政監査のむすびとする。

### 指摘事項

1 　3款 衛生費 1項 清掃費 1目清掃総務費の10節 需用費に、予備費から172,000円を充用し、その後、同節から他の費目の役務費に349,000円及び委託料に994,000円をそれぞれ予算流用していた。

これは、蓮田白岡衛生組合予算事務規則第20条第4項の「予備費を充用した費目については、他の費目に流用することができない。」と定めていることに反していることから適確な予算事務の執行を行うべきである。

### 提言要望事項

1 　一般会計の決算における不用額の合計は38,512,050円で、前年度は16,737,201円であり、21,774,849円増額となっていた。また、増額や減額補正を行っているが、補正額を超える不用額が見受けられた。昨年度においても適正な予算執行管理について要望をしているところであるが、予算執行計画の重要性を再認識するとともに有効活用して、常に計画と実績を照合し適正な予算の執行管理を行うよう再度要望するものである。

2 　コンプレッサー点検整備他4件や焼却灰・ばいじん等処分業務委託契約他10件など、随意契約116件中、予定価格と同額で契約しているものが33件（全体の28.4%）見受けられたが、地方自治法第2条第14号を考慮し、予算の効果的かつ効率的な執行を望むものである。

3 　環境センター場内整備工事及びクレーン補修工事の契約において、契約書類関係の中に工事記録写真の日付がないものが見受けられ、実施工程表と現場写真の整合性が確認できなかった。工事記録写真は、工事施工が工程表どおり行われていたか確認する重要な資料であることを再確認し撮影するとともに、工程管理ができるように実施日が明確にわかるものを撮影することに努められたい。

また、施行起案に施行日や施行予定日が記載されていないものが見受けられたが、書類作成にあたっては慎重かつ確実に事務処理を行うよう望むものである。